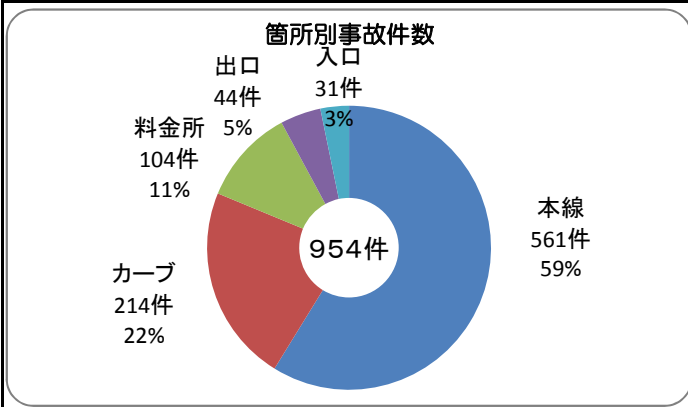
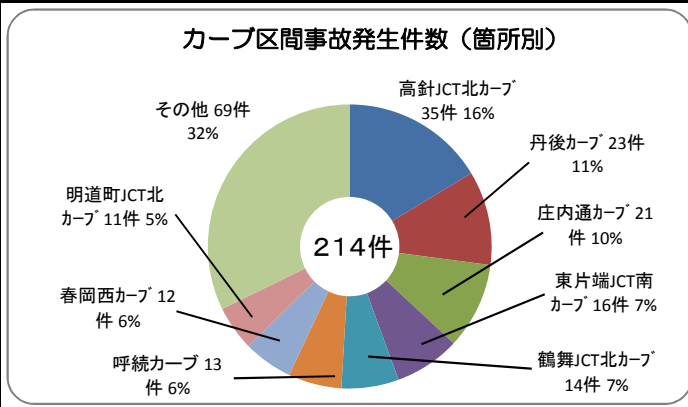


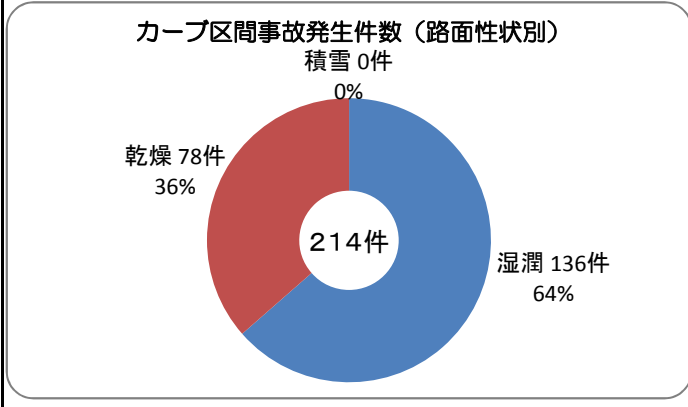
## 名古屋高速道路の交通事故の特徴(平成29年度)



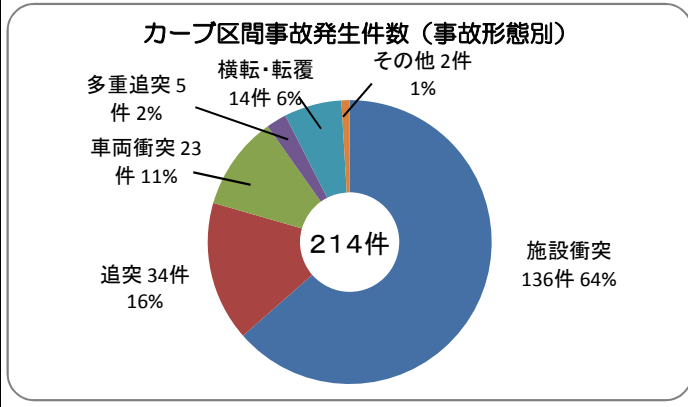
都心環状線等のカーブ区間での交通事故の占める割合が22%と多く発生している。



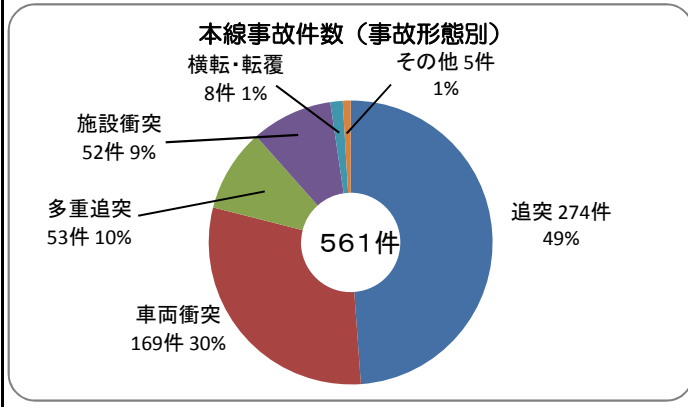
高針JCT北カーブでの事故が多いほか、丹後カーブ、庄内通カーブでの事故が増加しております。



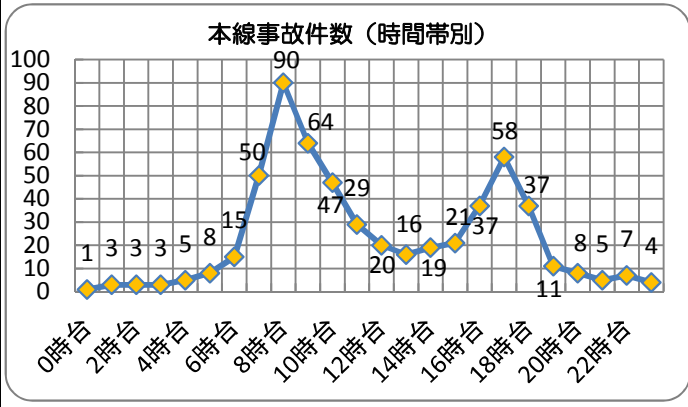
カーブ区間での事故は、雨で路面が湿潤状態の時に非常に多く発生しております。



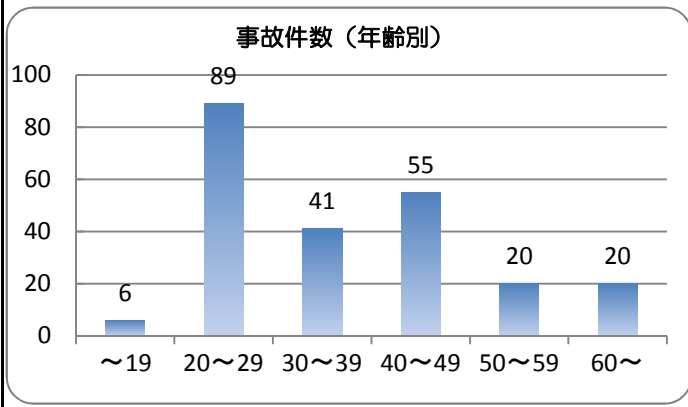
カーブ区間での事故は、施設衝突(壁への衝突)が64%と大半を占めております。



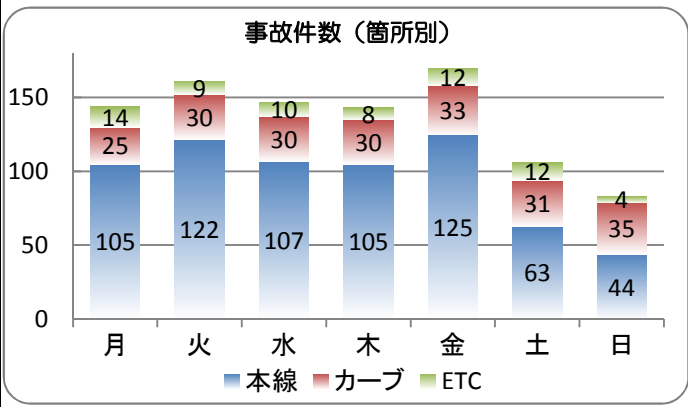
本線では、追突事故、車両衝突の順で事故が多く発生しています。



本線では、交通量の多い時間帯に、事故も多く発生しています。



お客様のうち、20歳代の事故が多い傾向にある。



事故は交通量が多くなる後半に多く、土日は若干少ない傾向にある。